

令和2年度
地球温暖化対策に関する市民実態調査結果

高松市環境局
環境総務課地球温暖化対策室

1 調査の概要

(1) 調査目的

高松市では、地球温暖化防止のために「高松市地球温暖化対策実行計画」を策定し、温室効果ガス排出量削減のための取組みを推進しています。

このアンケートは、市民の皆様の地球温暖化対策に対する意識や取組状況を把握するとともに、今後の本市の地球温暖化対策に係る施策等に反映させることを目的とするものです。

(2) 調査内容

- ・地球温暖化問題への関心度について
- ・地球温暖化防止に向けた取組みについて
- ・COOL CHOICE（賢い選択）について
- ・地球温暖化対策についての御意見

(3) 調査対象者

満18歳以上の市民（1,000人）

(4) 調査対象者の抽出方法

住民基本台帳（令和2年12月1日現在）から、中学校区ごとの登録人口で按分し、校区ごとに無作為に抽出

(5) 調査期間

令和2年12月14日（月）～12月28日（月）

(6) 調査方法

調査対象者に、調査票と返信用封筒を同封して郵送

(7) 回収結果

- ・発送数 1,000件
- ・回収数 493件
- ・回収率 49.3%

(8) その他

各設問の回答比率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。

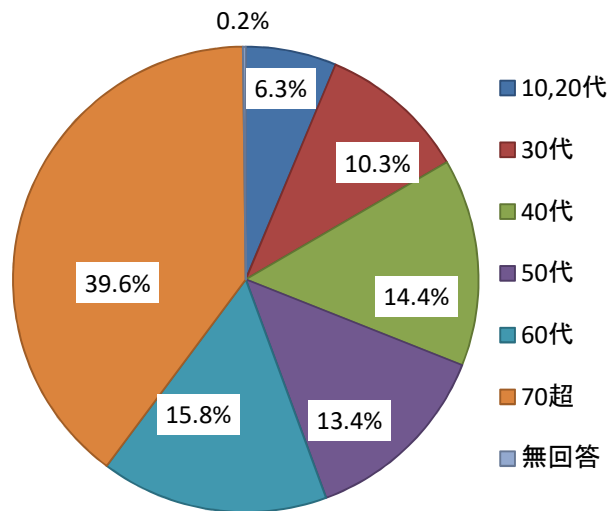
2 調査の結果

1 回答者の属性

(1) 年齢階層別

70歳以上が39.6%と最も多く、以下、年齢が低くなるにつれて割合も低くなっていく傾向にあります。

年代別

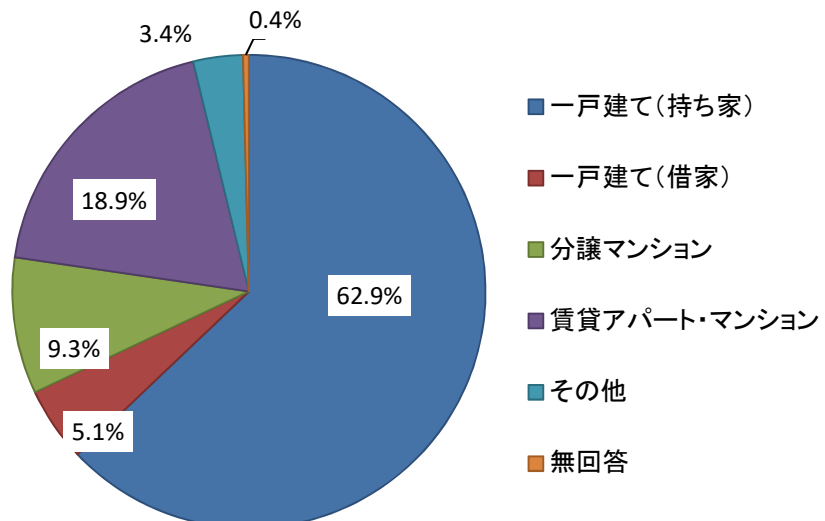


(2) 住居形態別

「一戸建て(持ち家)」(62.9%)が最も多く、次いで、「賃貸アパート・マンション」(18.9%)となっています。

その他の回答としては「公営住宅」、「社宅」等がありました。

住居形態別



2 地球温暖化問題への関心度について

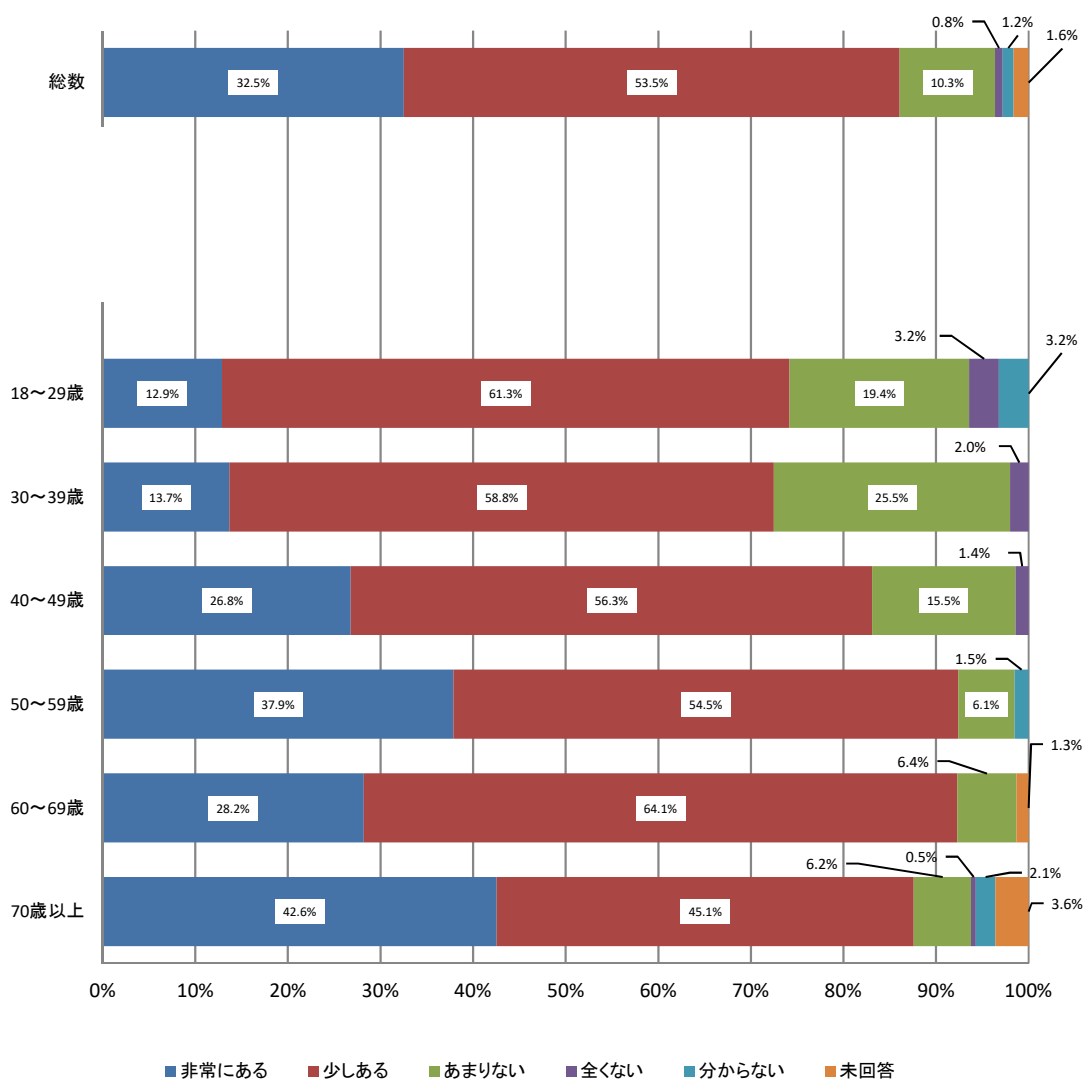
(1) 地球温暖化問題に関心がありますか。あなたの考えに最も近いものを選んで、番号に○を付けてください。

地球温暖化に関心がある人が約9割

「少しある」(53.5%)が最も多く、次いで「非常にある」(32.5%)となっており、全体としては、86.0%の人が地球温暖化に関心があるという結果になりました。

年代別では年代が上がるにつれ、「非常にある」と回答する人の割合が高くなる傾向があります。

関心度

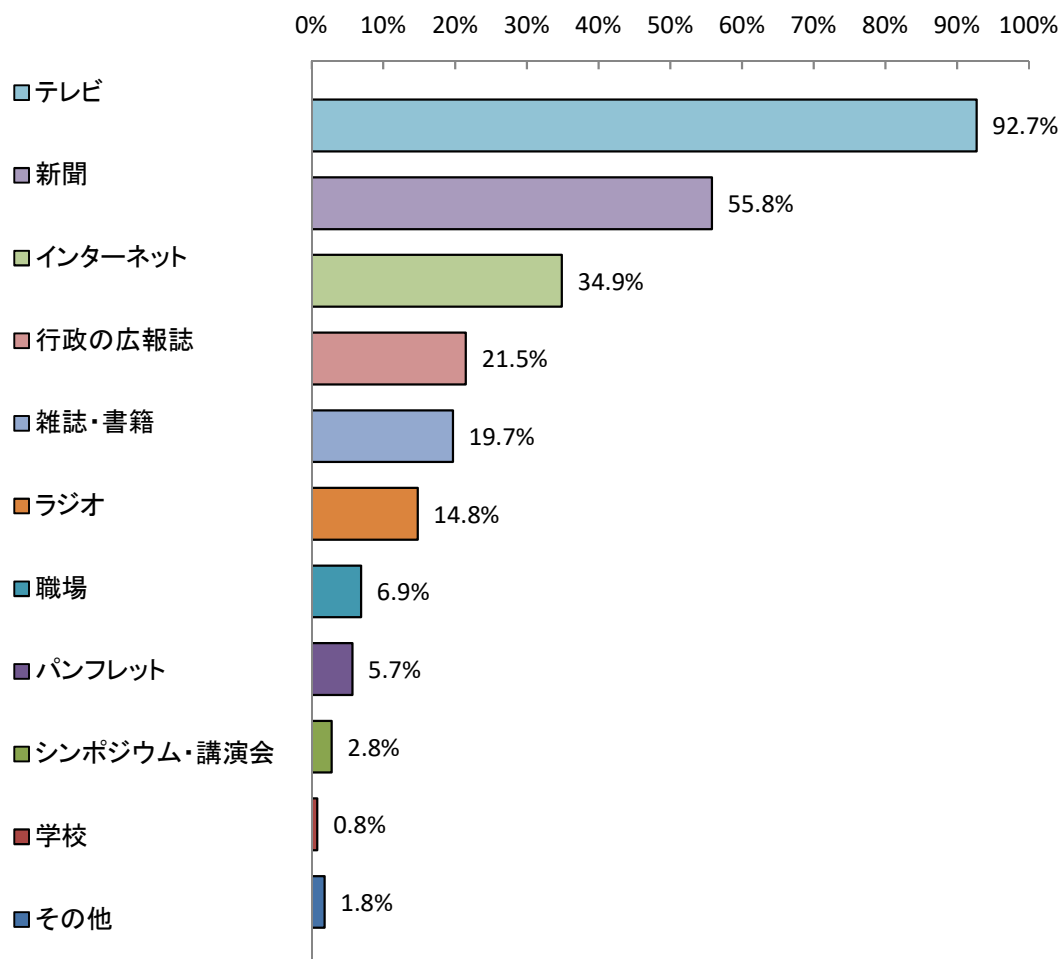


(2) あなたは、地球温暖化に関する情報を、普段、どこから得ていますか。あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。

主な情報入手方法はテレビと新聞

情報入手方法としては、「テレビ」(92.7%)、次いで「新聞」(55.8%)という結果になりました。ほかに割合が高かったものとして、「インターネット」(34.9%)、「行政の広報誌」(21.5%)、「雑誌・書籍」(19.7%)となっています。

情報入手方法(全体集計)

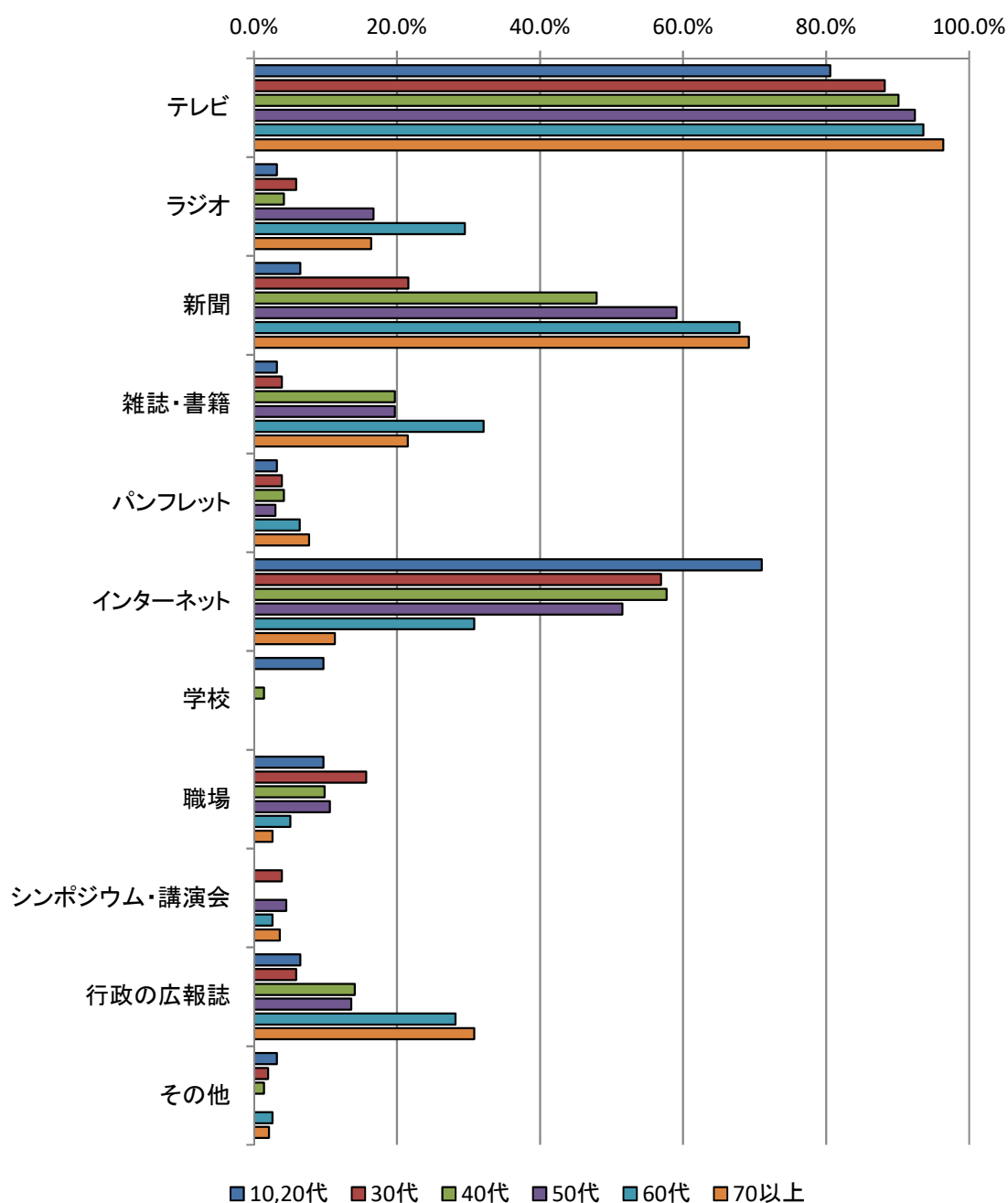


年代別にみると、「テレビ」・「新聞」・「行政の広報紙」の3項目については、年代が上がるにつれて割合が増加する傾向にあることが分かりました。

一方で、「インターネット」・「職場」については若い年代の割合も高くなっています。

また、「テレビ」についてはどの年代も高い割合となりました。

情報入手方法(年代別)

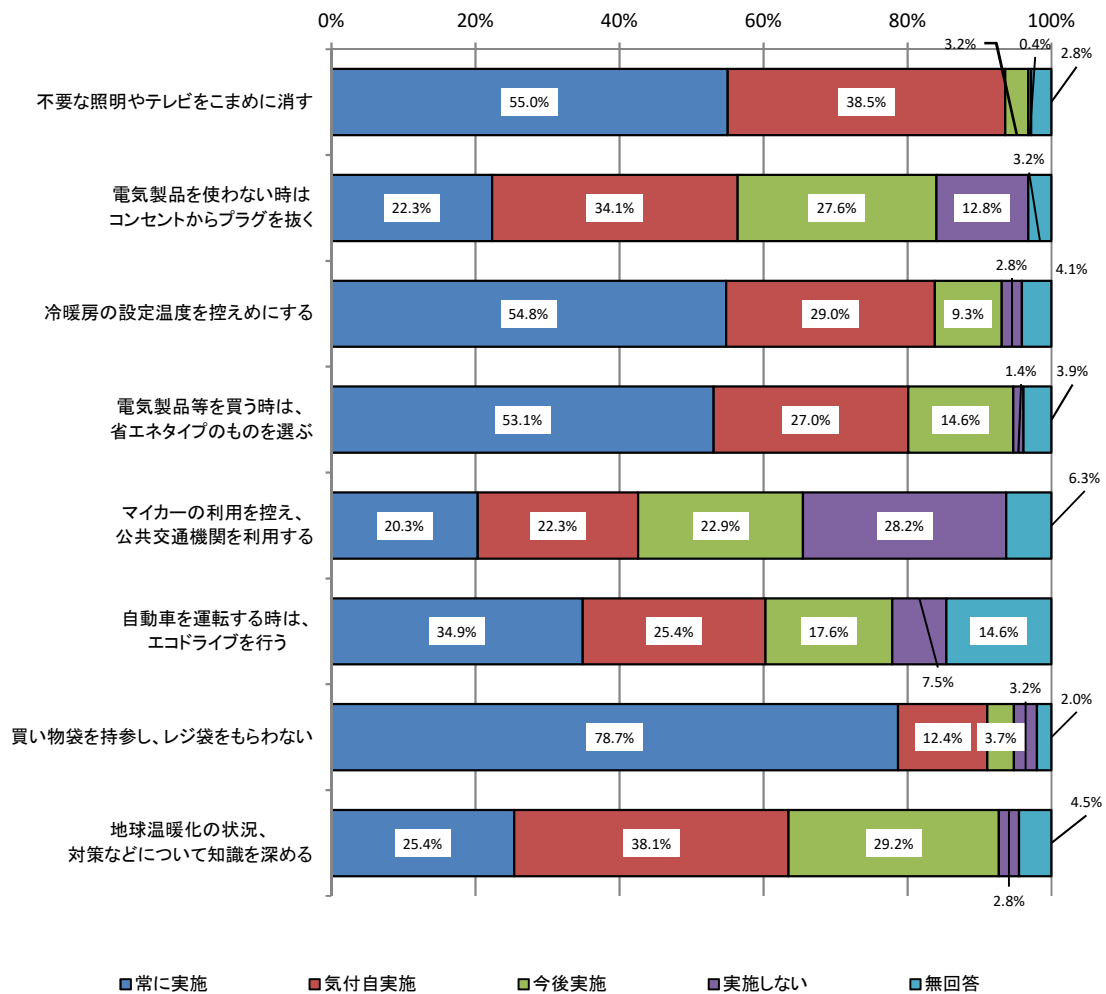


(3) あなたが日頃、地球温暖化防止のために実施していることはありますか。
それぞれの項目ごとに、あてはまるものを1つ選んで○を付けてください。

「常に心がけて実施している」と「気が付いた時に実施している」を合わせた割合の上位3項目は、高いものから順に、「不要な照明やテレビをこまめに消す」(93.5%)、「買い物袋を持参し、レジ袋をもらわない」(91.1%)、「冷暖房の設定温度を控えめにする」(83.8%)となっています。

また、「今後も実施しない」の割合が最も高かったのは、「マイカーの利用を控え、公共交通機関を利用する」(28.2%)となりました。

日頃の取組み



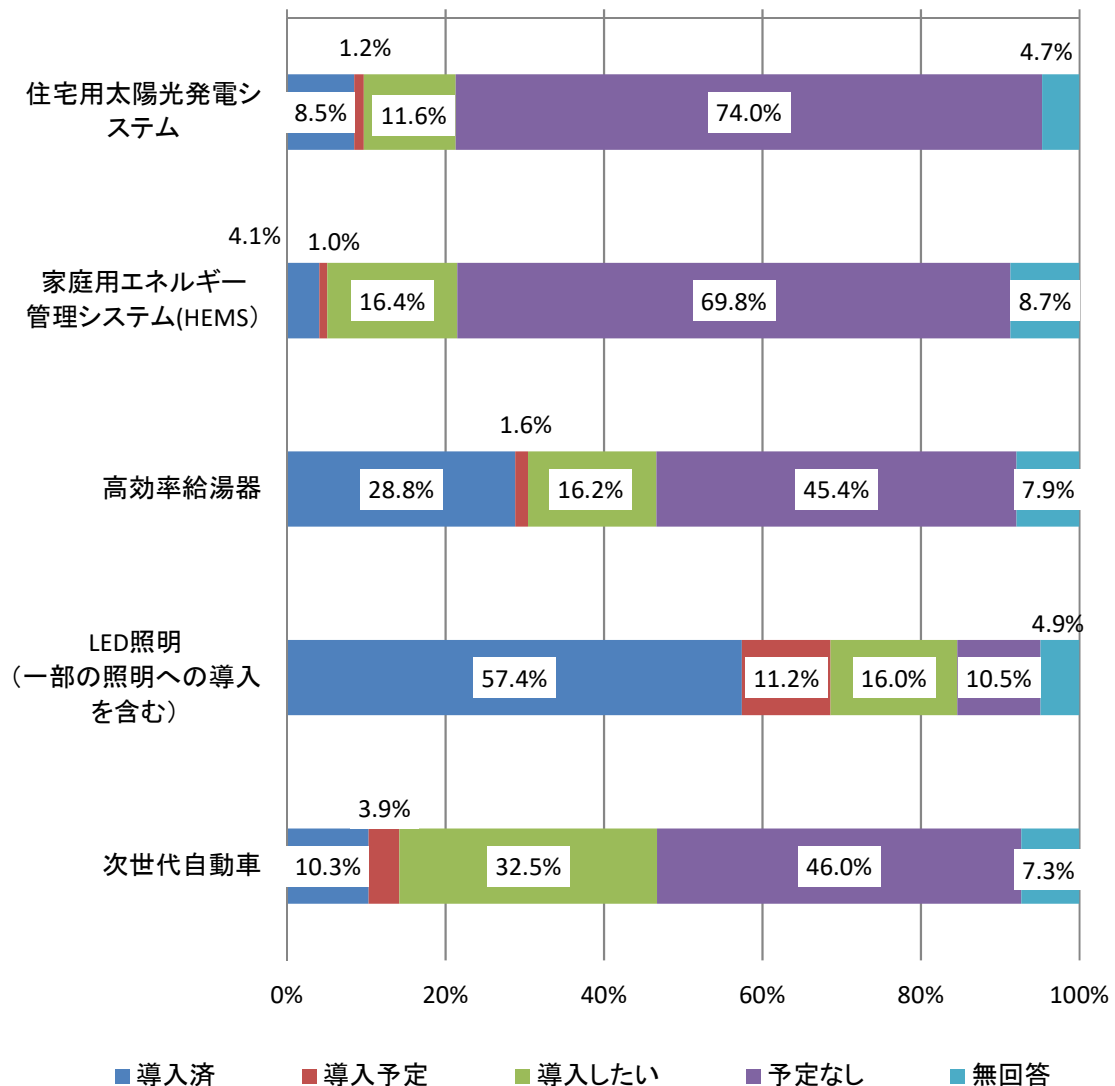
(4) あなたのお宅では、地球温暖化防止につながる省エネルギーや自然エネルギーに関する設備等を導入していますか。それぞれの項目について、あてはまるものを1つ選んで○を付けてください。

LED照明は、約6割が導入済

「導入済」の割合が高いものは、「LED照明」(57.4%)、次いで「高効率給湯器」(28.8%)という結果になりました。

一方、「住宅用太陽光発電システム」、「家庭用エネルギー管理システム(HEMS)」については、「導入済」が1割に満たない結果となっています。

設備等導入(全体)

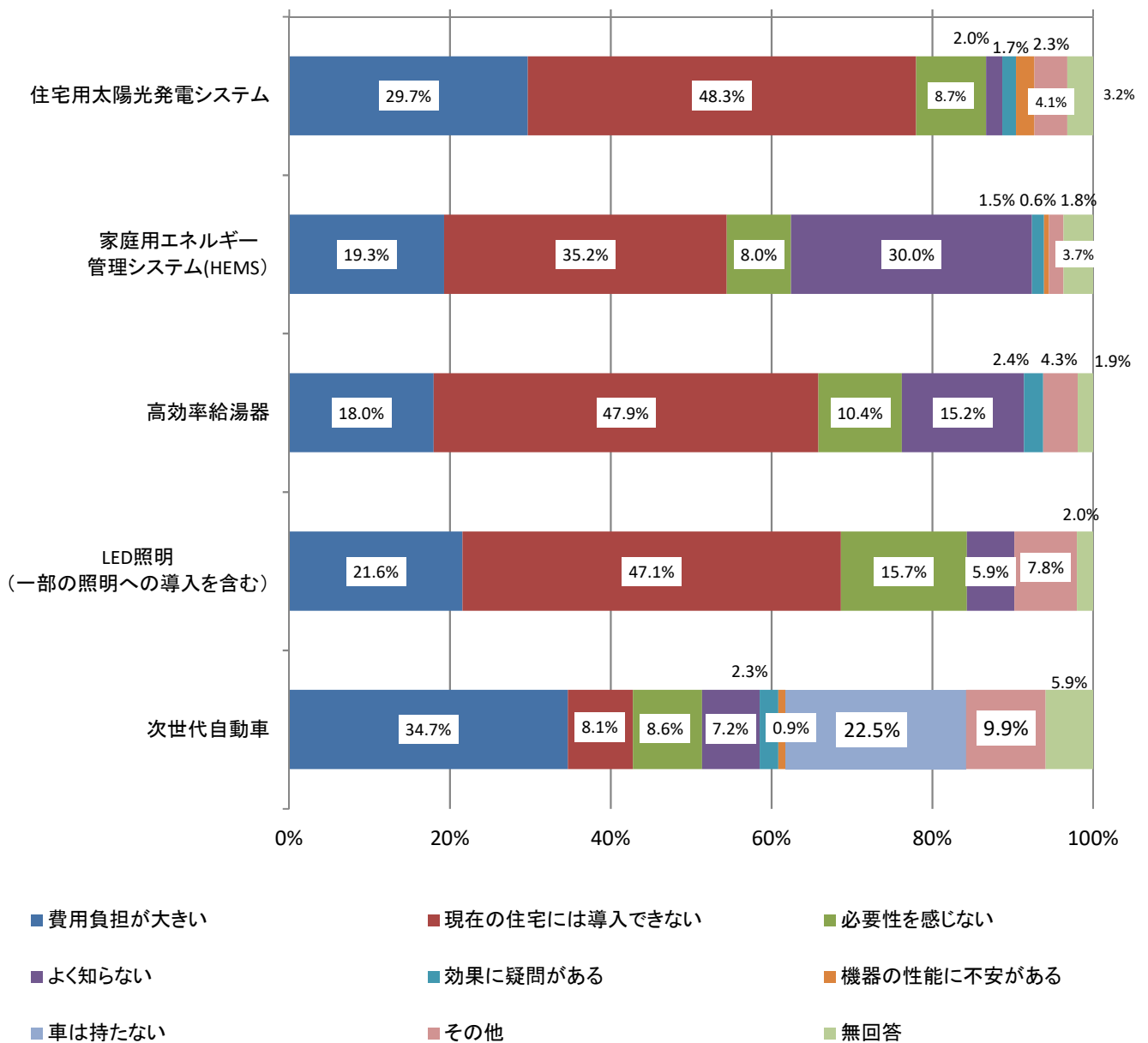


各項目で「導入の予定はない」と回答した理由についてみると、次世代自動車を除く4項目で「費用負担が大きい」、「現在の住宅には導入できない」の2つが主な理由として挙げられています。

次世代自動車については、「費用負担が大きい」、「車は持たない」ということが主な理由となっています。

「家庭用エネルギー管理システム（HEMS）」、「高効率給湯器」については、「よく知らない」と回答する方が多くいることが分かります。

予定なしの理由



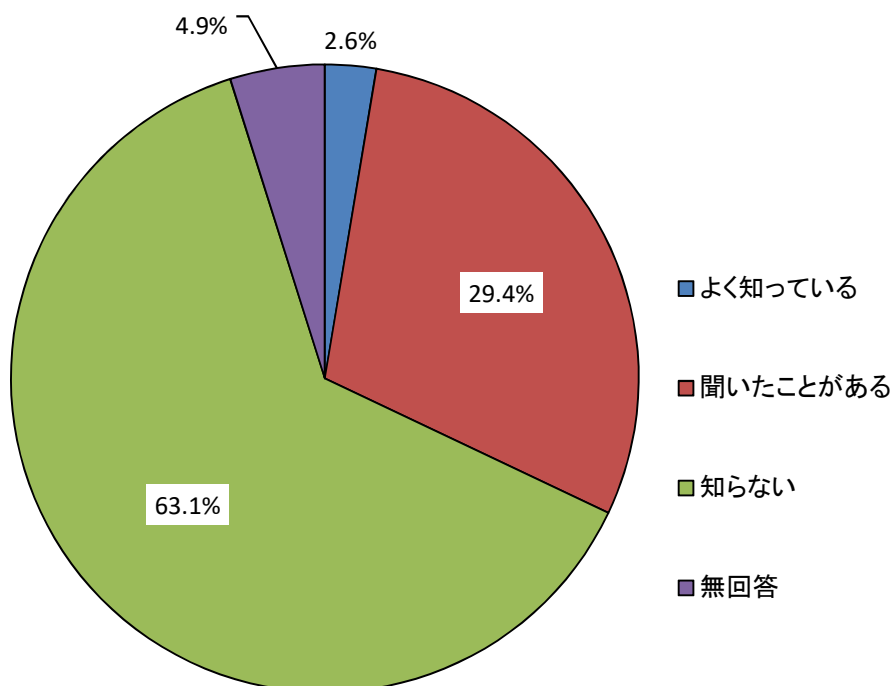
3 COOL CHOICE（賢い選択）について

（1） あなたは、二酸化炭素の排出が少ない低炭素型の「製品」や「サービス」や「行動」など、温暖化対策のための「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE（賢い選択）」を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○を付けてください。

COOL CHOICEの認知度は約3割

「内容までよく知っている」（2.6%）と「名前は聞いたことがある」（29.4%）を合わせた32.0%の人が、「COOL CHOICE」という言葉を知っているという結果になりました。

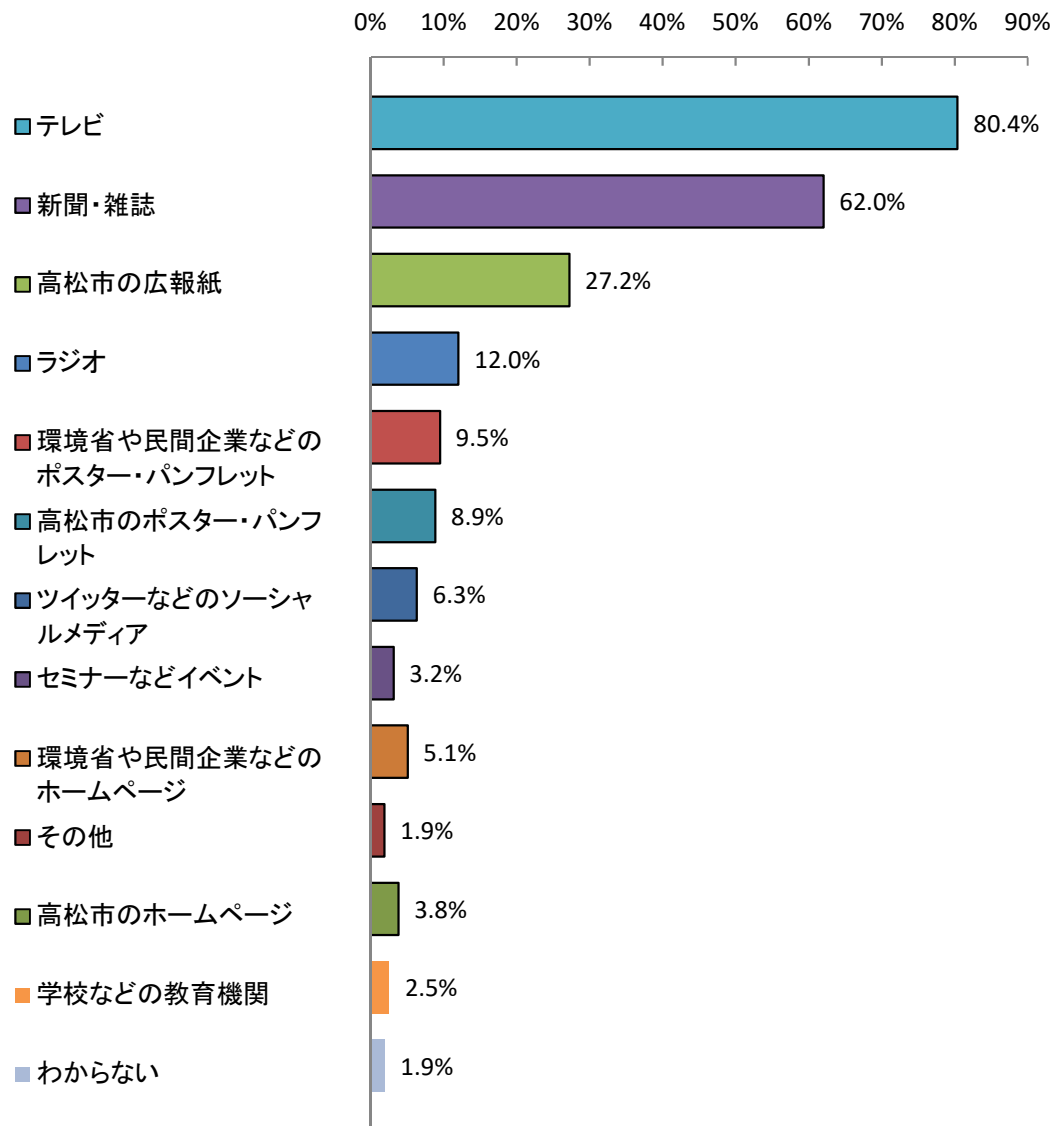
COOL CHOICE認知度



(2) 「内容までよく知っている」「名前は聞いたことがある」と答えた方に
あなたはCOOL CHOICE（賢い選択）を何で知りましたか。あてはまる
ものすべてを選び、番号に○を付けてください。

COOL CHOICE（賢い選択）を知ったきっかけとして最も多かったのが、
「テレビ」（80.4%）となり、次いで「新聞・雑誌」（62.0%）、「高松市の広報
紙」（27.2%）という結果になっています。

情報入手方法



4 地球温暖化対策についての御意見

※ 質問趣旨と異なる回答は除外しています。

◆ 20代

- ・電気をこまめに消したり、暖房をあまり使わないようにしているが、それ以上になにをすれば良いかあまり分かっていない。できればお金がかからないことで出来ることがあればやっていきたい。
- ・個人だけでなく、企業への対策強化も大切だと思う。
- ・自動車での移動が多くなるので、地球温暖化防止のためにも、公共交通機関を充実させてほしい。
- ・ポリ袋などが海に流れ出ないようにする。
- ・コストがかかる。

◆ 30代

- ・「できることから少しずつ」では、温暖化が進むばかりだと思う。まずは、ゴミの分別・廃棄方法について、しっかりとした制度化が必要なのではないかと思う。
- ・地球温暖化が一時期に比べ話題にならなくなった理由は、改善されているのか若しくは諦めているのか。各対策について受動的に感じる。自主性を持った対策が必要だと思う。また、本当に地球温暖化は人為的な原因が大きいのか不明。
- ・学生の時には学んだが、社会人になって改めて学ぶ機会がない。
- ・本当に深刻な問題であることは調べればすぐわかる。ヨーロッパでは日々報道されている。コロナでさらに拍車がかかったと思われる。(プラスチックゴミの増加、貧富の差の拡大) エコライフ香川！で取り組んでいくべき。子ども達がかawaiiそう。
- ・エアコンは連続運転の方が電気代が安いと聞きますが、CO2 排出量はどうなのか。
- ・間違った情報がテレビなどのマスコミで大きく報道されていて不愉快に思うことがある。電力会社や政府のため？と思う。
- ・スーパーの食品トレイは不要だと思う。真空パックが良い。
- ・地球温暖化については、テレビで見てどうにか自分もと思うが、どう動いたらいいかわからないし、正直私だけがしても変わらないと思ってしまう部分もある。気にはなっている。
- ・レジ袋の廃止は意味がない。
- ・24 時間営業のお店が増えている。便利が良いこともあるが地球温暖化や治安の問題の面からも、もっと形を変えて営業することはできないだろうか。
- ・電気自動車がほしいが、ミニバンタイプがないので買えない。
- ・香川県は特に車社会なので、EV、PHEV、HV 車を購入しやすいように「国」＋「県独

自」の助成金制度があれば良いと思う。例えば、東京都では電気スクーターを購入する際「国」＋「都」の助成金が受けられる。

- ・時間的コストと引きかえに不便な生活になることは本末転倒である。

◆ 40代

- ・個人がお金をかけて温暖化対策はできない。意識はあるので、お金をかけずコツコツ取り組みます。
- ・「地球温暖化のため」と意識している訳ではないが、節電のために気づけば実施している。今後は、温暖化を考えながら、生活していきたい。
- ・レジ袋だけでなく、様々な商品の過剰包装についても減らしてほしい。レジ袋のように義務化してくれるとよいと思う。
- ・地球温暖化対策は企業努力に尽きると思う。国民は商品を選ぶのに環境対応は二の次で、商品の普及には、性能、価格、使いやすさが重視され、環境対応はプラス α でしか考えていないように思う。脱フロン、CO2削減に繋がる取組みは企業努力でしか達成しないと思う。消費者がゴミの分別をし、リユース・リサイクルに貢献しているものの、限界があると思う。
- ・市全体で不要な照明等を減らし、節電意識を高める取組みがあれば意識を変えていけるのではないかと。ことでんの利用、バス利用者の利便性向上の市の取組みは賛成である。バスも乗りやすくデザイン性があり、乗りたくなるような車体を導入して欲しい。ことでんはまだ運賃が高く感じる。車移動+駐車場代の方が安いので自動車に負けてしまう。Paypay 連動やポイント割引等で乗りやすくしてほしい。
- ・幼少期から地球温暖化について学習の機会があれば、親子や家庭内、地域での取組みへと発展しやすいのではないかと。例えば、参観日に合わせた特別講演など。教育委員会とコラボしてほしい。
- ・一般家庭や空き地等にソーラーパネルが多く設置されたが、発電所の発電量は減ったのだろうか。また、火力発電の時点でCO2を回収すればよいと思う。
- ・電力会社の特権の即廃止・撤廃と新規会社の参入緩和による循環型エネルギーの増加促進が大切。
- ・効果が分かりづらいので、興味が湧かない。
- ・畑の野焼きを禁止する条例を作る。
- ・あまり知識がないので、世の中の販売商品全てが省エネの商品になると買い物のミスがなくなるのではないかと。
- ・地球温暖化はCO2の排出が影響するので、このような郵送するアンケートは害になる。ネットを活用すべきだと思う。また、このようなアンケート方式では集計を自動で出来ず人海戦術となり、そこに多大な税金を使った人件費が発生することに疑問がある。

また、ホッチキスを未だに使用するなど理解できない。アンケート収集の前にまずは自身の所属から改善すべき。

- ・海外の論文等も含め海外の情報も踏まえると、地球温暖化とCO2の関係には関連性がない可能性も出ている等、環境問題とは別としてCO2排出のみに集中して対策をすることには疑問がある。国の方針なので行政として対応するのは当然かもしれないが。
- ・人間が生きている限り、二酸化炭素は排出され続ける。今さら遅いのでは。
- ・エコバック・自転車を利用しています。二人の子どもを育てていますが、もっと学校でこの話題を取り上げてほしい。地球温暖化対策には大賛成です。
- ・聞いたことはあっても、何をすれば温暖化対策につながるかをわからないことが多いので、チラシよりCM等目に触れることの多いもので呼びかけるべきと思います。

◆50代

- ・世の中が24時間対応しすぎている。家庭もそうだが、企業も24時間体制を変更すればよいと思う。
- ・国が本気で取り組まなければだめだと思う。いつまで国民に全部投げたままにする気なのかと呆れる
- ・みんなスマホを所持しているのだから、高松市民向けの動画アプリで、どんどん発信して欲しい。活字よりネットから直接声を届けてほしい。高松としての取組みがよく見えないし、高松いいよ！って声も最近聞かなくなった。
- ・アンケートは、WEBにすれば回収率の問題はあるが、紙のムダつまり地球温暖化対策になるのではないか。
- ・感情論ではなく、正しいデータに基づいて対策に取り組むべき。
- ・CO2排出量を急に減らすことができるのか疑問です。CO2排出量を減らすためにも適正な価格で太陽光発電の電力を買い取ってほしい。卒FITを勝手にされて困っている。
- ・負担が少なければ取り組みやすいと思う。
- ・日本だけやってもあまり効果がないと思う。中国、インドなど人口の多い国が真剣にならないとけない。
- ・以前から提唱されているが、どのくらいの効果があり、温暖化がどのくらい改善されるのか分からない。はっきり示すべき。
- ・ゴミの分別回収について本当にエコなのか検証して欲しい。
- ・近年の暖冬や自然災害など、既に止められていないものになっているのではないかと感じている。
- ・一人一人の努力も大切ですが、企業・国レベルで考えていく必要があると思う。
- ・地球温暖化対策について興味はあるが、正直どのように伝えればよいのか個人レベル

ではよくわかっていない。具体的なパンフレットがあればそれを参照したい。現在そのようなものがあるのかもしれないが、小冊子のようにしていただければ理解しやすいと思う。

- ・一人一人の意識を変えて、できることから取組みたい。
- ・温暖化対策で良くないと言われているものが本当に関係しているのか、また、どのようにどれほどの効果あるのか信用できない。
- ・太陽光発電等を導入するための費用負担が大きすぎて、どの家庭もしたくてもできないのが現実である。
- ・どこもかしこもコンクリートにしているのが大きな原因だと思う。気温も上がるし水はけも悪く、洪水にもなりやすくなっていると思う。
- ・地球温暖化対策にかかる費用を電気代などのエネルギー代に上乗せして、どのくらいかかるのか国民にも知ってもらいたい。こうでもしないと国民側は温暖化について考えないと思う。
- ・技術革新による解決に期待したい。
- ・便利な生活＝エネルギーの過剰だと思っている。今、自然災害も多いしちょっと不便な生活に慣れておくことも必要だと思う。
- ・今までの行いの結果として温暖化が進んでしまったのだと思う。これからの世代のため、将来のために今意識して対策に取り組んでいきたい。
- ・本当に温暖化しているのか疑わしい。

◆ 60代

- ・何とか一人一人ができることから実行しなくてはならない。自分の出来ることを毎日心掛けたいし、孫たちにも伝えたい。
- ・地球全体で温暖化対策が出来るようになることを祈るばかりです。
- ・次世代自動車ではどのタイプが最も良いのか。
- ・アンケートに答えながら、エコキュートやハイブリッド車も地球温暖化に関係していることが分かった。
- ・費用対効果に疑問がある。導入消耗機器等の廃棄処分方法及び費用が分からない。
- ・徐々に炭素を排出する発電所をなくすこと、原子力発電も不安があるし、代替りの環境に優しいものをお願いしたい。
- ・分かりやすい発信が大事。
- ・森・山の整備をお願いしたい。安易な開発は自然破壊となり、水資源にも不安が来る。行政に期待するしかない。
- ・太陽光発電などの導入に際して補助金などの充実をお願いしたい。

- ・色々な開発が必要以上に進み過ぎて取り組むべき事が違った形でなされているように感じる。
- ・費用が家計の負担にならない手軽にできることをしていきたい。
- ・CO2による温暖化、レジ袋などその効果が学術的に立証されていない。もちろん省エネは大賛成だが、学術的に立証されていない事に対して、多大なコストを支払うのは大いなる「ムダ」ではないか。
- ・省エネシステム、特に電気自動車の導入時に市町村の補助金制度があれば良い。
- ・全員が少しずつ未来に向けて実践すること。
- ・冷暖房の設定温度を控えめにすること。
- ・利便性を求めるか、不便さを重要とするか、ハッキリさせる必要がある。
- ・今後、車の購入時には電気自動車を選択肢に含める予定です。

◆70代以上

- ・マイカー通勤をなるべく減らしていく。
- ・家庭内に高齢者が多く、つい冷暖房加湿器等を使用しすぎているかもしれない。
- ・高松市が温暖化対策について具体的に実施している内容を1つからでもよいのでPRする場を多く持つことが大切だと思う。
- ・自分自身でできることや何か協力することがあればやりたい。
- ・原子力発電は目先の対策であり、将来に大きな負担をかけるため、絶対に即中止するべき。風力などを使うべきで、火力発電も徐々に止めるべき。
- ・近場なら車より自転車に乗ろうと思う。
- ・火力発電所を廃止し、「地熱」、「太陽光」、「風力」等クリーンエネルギーを増加させるべき。
- ・原子炉使用に反対。電気自動車を使用するといい。核のごみ廃棄が不安です。未来の子ども達に汚点を残してほしくない。
- ・温暖化対策をすれば将来どんな事に役に立つかは承知しているが、世界人口と将来対策の最終形を比較し効果を知りたい。
- ・電源プラグをその都度抜くことができていないので、気づけば行っていきたい。
- ・太陽光発電については、稼ぐ目的にすれば大面積になり公害にもなるが、自宅の屋根に設置するには問題ないと思うので、補助金でもって設置が進むようになればありがたい。
- ・何をどうすればどれだけの効果がでるのかについて具体的な説明があればより理解が進むと思う。ただ温暖化に役立つというだけでは「そうなのか」で終わる。行動に結びつきにくい。

- ・地球温暖化は人類の生存に関係しているので大いに進めてもらいたい。
- ・電気製品に頼りすぎ。我慢が足りない。
- ・我々年寄りには難しいと思うのと、将来の事を考える余裕がないのが現状。
- ・エネルギー等に関し、本質的な見直しが必要。
- ・やはり小さな事から関心を持ち、少しずつ一人一人が実行すれば大きな繋がりになると思うので、身の回りの気付いた事から実行したい。細かい事や分かりづらい事が多いので、広報誌等に頻繁に掲載して欲しい。
- ・自宅周辺で田んぼがなくなり家がどんどん増えているが、これは地球温暖化対策に反していると思う。これを許可しているのは香川県、高松市ではないのか。土地開発を許した、すなわち、自然を壊し町を温暖化していると思う。
- ・買物袋の有料化は効果がない。
- ・地球温暖化対策についてよくわかっていない。私たちの時代にいいとしてもこれから先の子や孫たちが生活しやすい地球になればと思う。
- ・次世代に対してこのまま引延しをして何も思わないのがおかしい。必ずゴミは分別し出さないなど、リサイクルを心掛けています。
- ・異常気象が地球温暖化に関わるものと考えれば、その対策は実行しなければならない。
- ・各住宅（持ち家）に5～10本の庭木を植えることを推進してはどうか。
- ・再生可能エネルギーをもっと強化する。エネルギー割合の50%まで上げる。
- ・ゆくゆくはエネルギー全てを太陽光発電、風力発電、地熱発電等自然エネルギーを利用するのがベストだと思う。大量に蓄電する装置の開発を願っている。
- ・大国が協力しないと地球全体での温暖化対策の効果が有りません。
- ・車のアイドリングストップを実行していきたい。
- ・氷河が溶ける等海面の上昇、また、台風等を含めた異常気象の危機感をもっと知らしめてほしい。
- ・プラスチック製品の過剰梱包をなるべくやめるのはどうか。
- ・車に関してはガソリン車や軽油・重油を必要としない電気自動車等をはやく開発してみんなが利用できる価格になるとよい。
- ・行政側の広報・指導・助成を望む。次世代に地球環境を改善、引継ぐことは使命である。